

## 国際政治学科へ入学されたみなさんへ

ご入学おめでとうございます。

本来であれば、直接お会いしてお祝いを申し上げるべきなのですが、このような形となることをお許してください。

国連のグテーレス事務総長が「第二次大戦以来、最大の危機」と評したように、現在、世界は新型コロナウイルスの感染拡大という未曾有の危機に直面しています。われわれがまず心掛けなければならないのは、自分と、自分の大切な人の命を守るために責任ある行動をとることです。

それと同時に、国際政治学科へ入学されたみなさんには、現在の混迷と混乱が世界の将来にどう影響するのかを冷静にとらえる視点を持ってもらいたいと思います。

いままさに世界は激動しています。

世界各国は協調して新型コロナウイルスの脅威に対応できているでしょうか？

人々の健康を守る国際組織である WHO は十分に機能しているでしょうか？

新型コロナウイルスは米国と中国との大国間対立にどのような影響を及ぼすでしょうか？

ヨーロッパでの感染拡大は、EU の結束を揺るがすことはないでしょうか？

医療体制が必ずしも十分でない地域での感染拡大を抑えるためにはどのような国際協力が必要でしょうか？

自由なヒトの移動が感染拡大を招いたというグローバル化の負の側面をどうとらえるべきでしょうか？

この危機を乗り越えたとき、どのような国際秩序が現出しているでしょうか？

そして、いま、日本が世界のためにできることは何でしょうか。

これからはじまる国際政治学科の授業は、このような課題を学問的・政策的に考察するために必要となる、国際政治や外交に関する幅広い知識と理論的な分析力、地球規模の課題解決のための政策的思考力を養うことを目的としています。国際政治学科での学びを通じて、インターネットや SNS、新聞やテレビから洪水のように流れてくる情報に翻弄されることなく、事象の本質を見極める確かな目を持ってください。そして、それを教室の中で完結させるのではなく、授業で身に付けることができる実践的な英語力を駆使して、世界に羽ばたいて実行してもらいたいと思います。

もちろん、大学は学問のためだけの場ではありません。ぜひ、生涯の友を見つけてください。そして、新型コロナウイルスをめぐる状況が改善したときには、その友人と世界を探索する旅をしてください。法政大学での学生生活が、みなさんの人生にとってかけがえのない財産となることを願っています。

2020年4月7日

国際政治学科主任 高橋和宏